

コスモ石油株式会社

2013年度第1四半期決算説明

2013年8月1日
常務執行役員 佐野 旨行

第5次中計の順調な滑り出し

＜基本方針＞ 石油精製販売事業における収益力の回復

千葉製油所 トッパ-2基体制による稼働再開
坂出製油所 閉鎖

(7月31日既報)

3製油所による安全操業・安定供給体制へ



千葉製油所
新設されたLPGタンク群

<実績概要>

2013年4～6月期は、石油製品市況の低迷があったものの、

- ①千葉製油所 トッパ-1基の再稼働による収益力回復
- ②HCP(Hyundai Cosmo Petrochemical)の新設BTX装置稼働による販売増

を主要因として、在庫評価を除いた経常利益は41億円となり、前年同期比47億円の改善となった。

<業績予想について>

今後の為替・原油価格の動向が不透明なこともあり、現時点では業績予想の修正を実施しない。

単位:億円

	2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比
売上高	8,223	7,557	666
売上原価	7,918	7,471	447
販管費	294	300	△ 6
営業利益	11	△ 214	225
営業外損益	28	△ 5	33
経常利益	39	△ 219	258
特別損益	6	1	5
法人税等	79	426	△ 347
少数株主利益	13	23	△ 10
四半期純利益	△ 47	△ 667	620

【参考】

在庫評価の影響	△ 2	△ 213	211
在庫評価除き 営業利益	13	△ 1	14
在庫評価除き 経常利益	41	△ 6	47

単位:億円

	2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比
連結経常利益	39	△ 219	258
在庫評価の影響(※)	△ 2	△ 213	211
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	41	△ 6	47
四半期純利益	△ 47	△ 667	620
①受入原油価格	103.24\$/B	116.45\$/B	△13.21\$/B
②為替	97.96円/\$	81.48円/\$	16.48円/\$

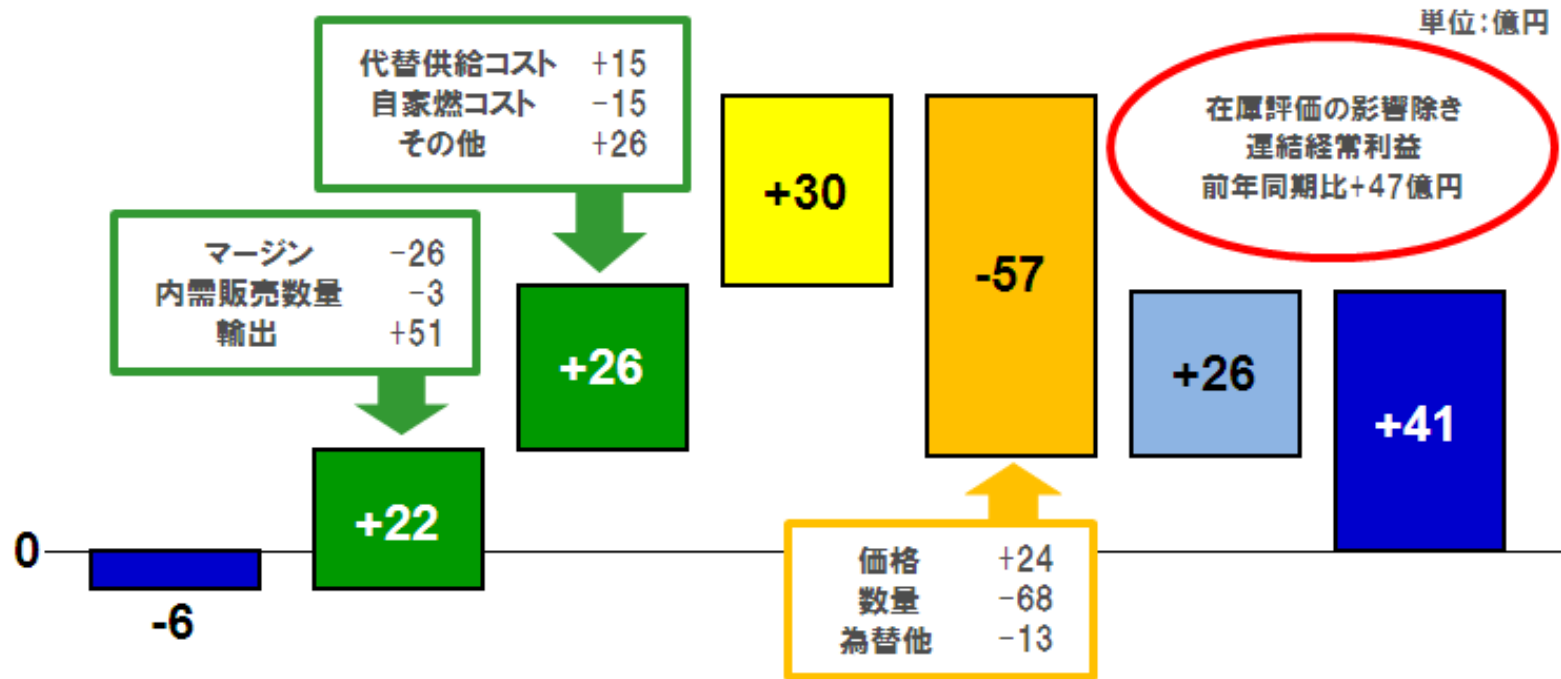
連結経常利益 セグメント別内訳

	2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比
石油事業	△ 129	△ 388	259
石油事業 (在庫評価影響除き)	△ 127	△ 175	48
石油化学事業	19	△ 11	30
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	19	△ 11	30
石油開発事業	120	177	△ 57
その他	29	3	26

※在庫評価の影響 石油事業：FY2013 1Q △2億円 / FY2012 1Q △213億円

主な
変動要因

- 石油事業 : 製品市況が低調に推移するも、輸出再開により増益
- 石油化学事業 : HCPの新設BTX稼働による販売増、及び好調な市況環境により増益
- 石油開発事業 : 生産トラブルによる数量減により減益



2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期					2012年度 第1四半期
在庫評価除き 経常利益	石油事業		石油化学事業	石油開発事業	その他	在庫評価除き 経常利益
	マージン・販売数量	その他				

単位:億円

	実績 (2013年6月末)	前期末 (2013年3月末)	増減
総資産	16,699	17,435	△ 736
純資産	2,569	2,569	0
自己資本	2,291	2,305	△ 14
自己資本比率	13.7%	13.2%	0.5ポイント改善
有利子負債	8,267	8,429	△ 162
有利子負債依存度	49.5%	48.3%	1.2ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	3.6	3.7	0.1ポイント改善
ネット有利子負債※	6,958	7,132	△ 174
有利子負債依存度	41.7%	40.9%	0.8ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	3.0	3.1	0.1ポイント改善

※有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

設備投資・減価償却費等

単位:億円

	2013年度 第1四半期	前年同期比
設備投資	77	△ 17
減価償却費等	95	△ 19

設備投資 セグメント別

単位:億円

	2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比
石油事業	67	67	0
石油化学事業	1	2	△ 1
石油開発事業	20	27	△ 7
その他	6	1	5
調整額	△ 17	△ 3	△ 14
合計	77	94	△ 17

補足資料

- P8 : 【2013年度 第1四半期実績】 販売数量
- P9 : 【2013年度 第1四半期実績】 原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量
- P10 : 【2013年度 第1四半期実績】 セグメント別実績:前年同期比
- P11 : 【2013年度 第1四半期実績】 人員数、油槽所数、SS数、カード枚数別推移
- P12 : 【ご参考:2013年度通期業績予想】 セグメント別予想および原油・為替前提と感応度
- P13 : 軽油輸出の実績・マージン環境
- P14 : 石油化学事業 アロマ市況

※最新の「データブック」および「用語集」は以下URLのIRサイトに掲載しています。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/financial/index.html>

単位:千KL

		2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	増減	前年同期比	2013年度 通期計画(前年比)
内需燃料油	ガソリン	1,468	1,428	40	102.8%	99.4%
	灯油	297	274	23	108.3%	100.0%
	軽油	1,068	1,103	△ 35	96.8%	95.1%
	A重油	382	436	△ 54	87.7%	98.9%
	4品計	3,216	3,242	△ 26	99.2%	98.1%
	ナフサ	1,657	1,329	328	124.7%	100.0%
	ジェット	93	92	1	101.4%	100.1%
	C重油	448	700	△ 252	64.0%	92.1%
	(内 電力C重油)	229	453	△ 224	50.5%	87.9%
	計	5,414	5,363	51	100.9%	97.9%
中間留分輸出	軽油	619	45	574	1375.8%	2855.4%
	灯油/ジェット	0	0	0	-	-
	計	619	45	574	1375.8%	3429.2%
保税販売他	ジェット	431	437	△ 6	98.6%	107.3%
	C重油	140	129	11	108.8%	105.7%
	その他	328	255	73	128.7%	57.0%
	計	899	821	78	109.6%	93.0%
バーター・その他		2,202	1,968	234	111.9%	108.5%
総販売数量		9,133	8,197	936	111.4%	104.3%

【1】原油コスト・原油処理量・稼働率					
		2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比	
受入原油	原油(FOB) \$/BBL	103.24	116.45	△ 13.21	—
	為替レート ¥/\$	97.96	81.48	16.48	—
	受入原油代(税込) ¥/KL	67,198	63,057	4,141	—
原油処理	原油処理量千KL	6,141	5,604	537	109.6%
	トッパー稼働率(CD)	66.8%	61.0%	5.8%	—
	トッパー稼働率(SD)	81.3%	84.3%	△ 3.0%	—

※SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

【2】原油生産数量					
		2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	前年同期比	出資比率
開発会社 生産数量 (B/D)	アブダビ石油	16,880	21,246	79.5%	63.0%
	カタール石油開発	6,819	7,562	90.2%	75.0%
	合同石油開発	13,462	12,156	110.7%	45.0%

※生産量: プロジェクト会社の期中平均生産量。(各社12月決算会社のため生産期間は1-3月)

2013年度第1四半期実績 前年同期比

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
石油事業	8,084	721	△ 108	248	△ 129	259	△ 127	48
石油化学事業	68	△ 3	2	1	19	30	19	30
石油開発事業	162	△ 60	92	△ 50	120	△ 57	120	△ 57
その他	153	2	9	10	13	11	13	11
調整額	△ 244	6	16	16	16	15	16	15
合計	8,223	666	11	225	39	258	41	47

グループ会社（セグメント別）

石油事業	： コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ、総合エネルギー他
石油化学事業	： コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)、Hyundai Cosmo Petrochemical(持分法適用会社)
石油開発事業	： アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
その他	： コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス、エコ・パワー他

【1】人員数推移

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度1Q
石油単体	1,916	1,957	2,064	2,180	2,135	2,025	1,899	1,915
グループ	3,335	3,299	3,269	3,325	3,268	3,098	2,840	2,858

※各年度3月末時点

※グループ:(08年度まで)石油単体+出向 (09年度以降)石油単体+出向+試傭員+シニア社員

【2】油槽所数推移

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度1Q
DT数	38	38	38	36	35	35	35	35

【3】運営者別SS数推移

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度1Q
販社	1,122	1,104	1,023	1,025	967	939	914	910
特約店	3,237	3,021	2,890	2,743	2,642	2,559	2,411	2,388
固定式SS計	4,359	4,125	3,913	3,768	3,609	3,498	3,325	3,298
可搬式SS	57	53	47	43	36	34	33	32

※05年度までは12月末時点とし、06年度からは3月末時点

【4】セルフSS数推移(固定式SSの内数)

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度1Q
販社	463	507	551	575	548	550	550	551
特約店	326	360	404	429	455	457	449	450
合計	789	867	955	1,004	1,003	1,007	999	1,001
セルフSS数比率	18.1%	21.0%	24.4%	26.6%	27.8%	28.8%	30.0%	30.4%

【5】コスモ・ザ・カード枚数推移(06年度よりオーパスも含む数値)

(万枚)

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度1Q
有効枚数	280	305	335	357	367	381	397	400

2013年度 通期予想 前年比

単位:億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
石油事業	34,600	3,438	115	216	30	267	30	420
石油化学事業	800	495	20	5	35	2	35	2
石油開発事業	980	121	530	△ 13	555	△ 52	555	△ 52
その他	700	△ 163	30	△ 3	45	△ 4	45	△ 4
連結処理	△ 1,580	△ 58	△ 55	△ 89	△ 55	△ 87	△ 55	△ 87
合計	35,500	3,833	640	116	610	126	610	279

前提条件 および 感応度

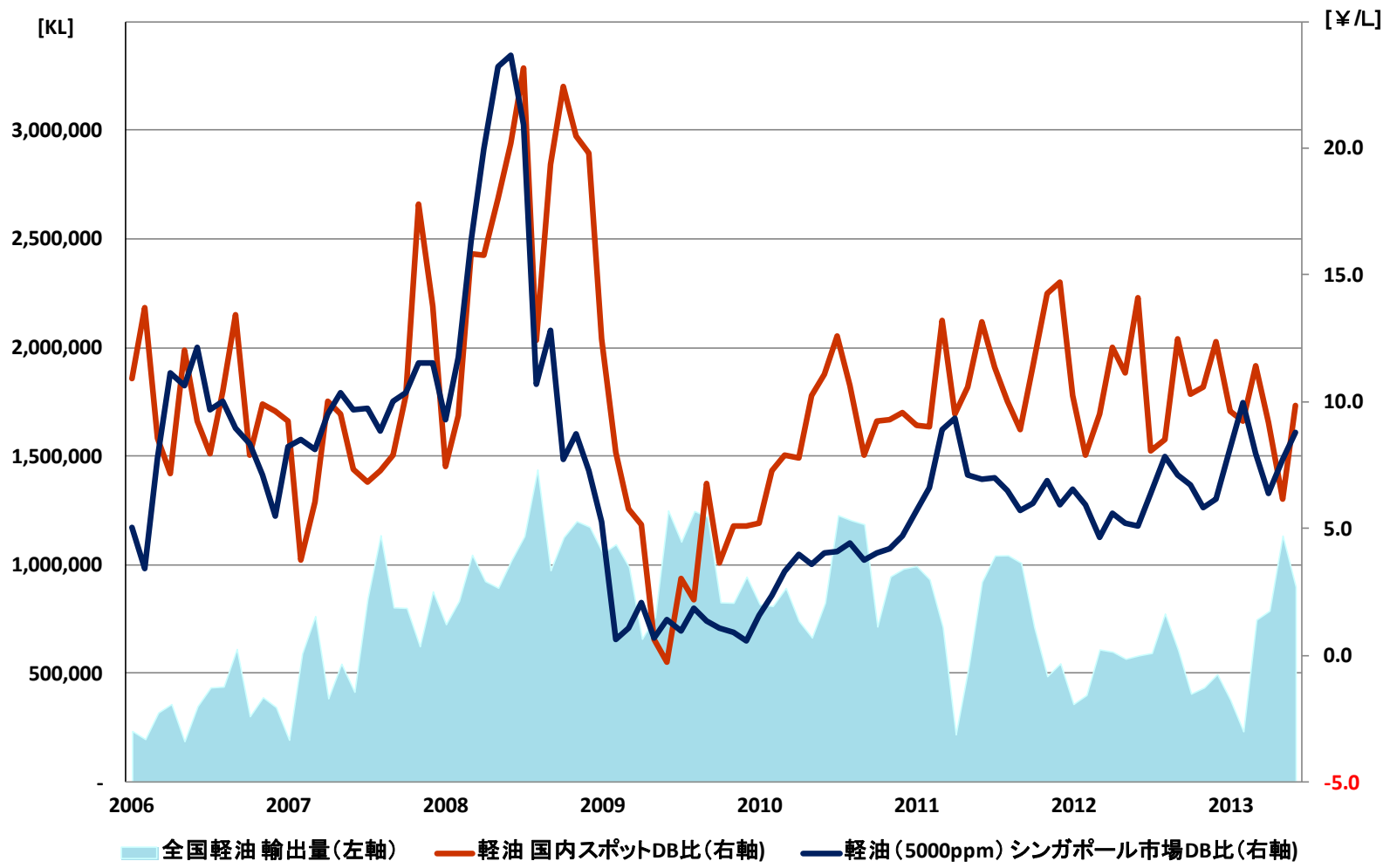
	前提	感応度	
		石油事業	石油開発事業
原油価格	100.0\$/B	+19億円	+8億円
為替	100.0円/\$	+19億円	+8億円

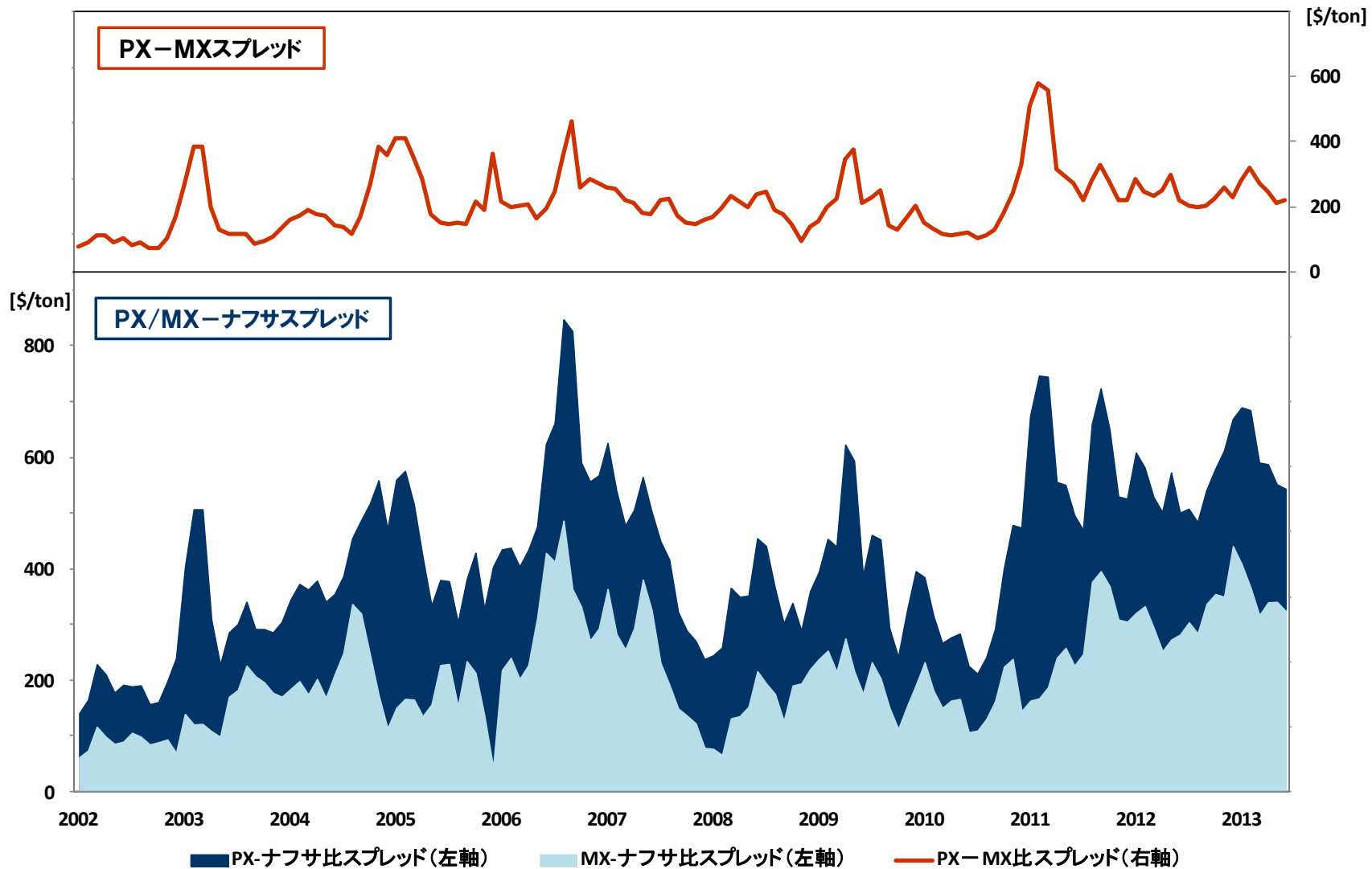
※感応度は、原油価格+1\$/Bあたりの影響額および為替+1円/\$あたりの影響額。

※上記は原油価格・為替変動の在庫評価益、自家燃コスト、タイムラグに対する影響(低価法の影響は考慮せず)

※当感応度の期間については石油事業が2013年4月～2014年3月までの1年間、石油開発事業が2013年4月～12月の9カ月間で試算した数字

軽油の輸出量と国内/海外マージンの推移





見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。